

第14回 中部地区路面電車サミット 2015 in 豊橋 開催



20150611~12



- 撮影 / 鳥居
- 関連記事 2P ~ 3P

☆☆活動報告☆☆

- 6月17日 ROBA6月例会
- 18日 えちぜん鉄道株主総会
- 19日 福井県健康バイコロジー推進協議会
- 23日 福井鉄道株主総会
- 23日 福井市地域生活交通活性化会議
- 27日 さばえ環境フェア

7月11~12日

中部地区路面電車サミット豊橋大会

15日 第1回カーフリーデー実行委員会

ROBA7月例会



☆☆今後の予定☆☆

8月19日(水) 第2回カーフリーデー実行委員会

ROBA8月例会

ゆうじんの部屋 書籍紹介

地域再生の戦略－「交通まちづくり」というアプローチ

宇都宮浄人著

ちくま新書 760円+税

この本は、最近20年の日本の公共交通再生のとりくみを総括した本と言える。さらにはフランスやドイツとの比較、費用便益分析、ソーシャルキャピタルなど、さまざまな見方からの公共交通論が展開されている。といっても、とても読みやすい本である。

これは著者自身が日本の公共交通再生の全国レベルのイベントには、ある時は講師として、ある時は1人の鉄道愛好家として参加し、実際の公共交通再生の現場に常に接してこられたからではないかと思う。

美濃部 雄人 Minobe Yujin

中部地区路面電車サミット参加報告

7月11日(土)に豊橋市で開催された中部地区路面電車サミットに参加してきました。愛好支援団体の会議参加者は、駅前から低床車両ホットラムの貸切便で市役所前に移動し、市役所13階に設けられた展示スペース「とよはし物語館」を、とよはし市電を愛する会の伊奈会長に案内していただきました。終戦直後の市電沿線の様子や路線の変遷、井原電停の急カーブの話題など興味深い解説に参加者全員が熱心に聞き入っていました。なお、市役所内の施設ですが、年末年始以外無休で8:00から22:00まで見学できます。 <http://www.city.toyohashi.lg.jp/6525.htm>

会議では、参加団体の代表者から活動状況や近況の報告があり、ROBAからは清水事務局長が主に下記の点を中心に報告しました。

1. 会の発足以来、京福電鉄と福井鉄道で存廃問題を2度も経験したこと
2. 来春えち鉄と福鉄が田原町で相互乗り入れし、福鉄の軌道が福井駅前広場に延伸すること

各参加団体からの報告終了後に、RACDAの全国広報担当高橋涼子さんから、第12回全国路面電車サミット2015鹿児島大会(10/24~25に開催でLRT都市サミット10/23~24との併催)の告知があり、芝生軌道を走る電車が魅力的ですから、少し遠いですが皆さん是非参加してくださいとのことでした。最後に今回のサミット宣言の文言確認、来年度の中部地区路面電車サミットを福井で開催することの合意を経て、閉会しました。

午後から会場を移動し、名豊ビル8階コミュニティーホールで、「路面電車と都市の交通~世界の動きと日本」と題して、地域公共交通総合研究所の服部重敬氏の講演会を聴講しました。まず、世界各地の路面公共交通(LRT,BRT)の状況を説明された後、日本の現状を説明し、路面電車の整備が進まない原因に言及されていました。特にゾーン運賃制や1日乗車券の導入で乗り継ぎ時の運賃負担を軽減することや、公共交通機関を独立採算ではなく行政が支援する仕組み作り、電停の安全対策の重要性を強調されていました。安全島がなくゼブラゾーン表示だけの豊橋鉄道東田電停を、危険なノーガード電停の例として紹介されました。

夕方からのビール電車では、司会者から指名された参加者が一言ずつ話す機会があり、私も当てられ多少酔っていたので「福井のような車社会の都市では私のように公共交通を使いこなしている者が半ば変人扱いされている傾向もあり困ったものです」との雑感発言をしていました。せっかくの発言の機会だったので、福井で来春に控えている大きなプロジェクトについて、清水さんの報告内容と重複してでも再度発信するべきだったかなと反省しております。今後、このように突然話を振られることもあると思うので、普段から自分の考えをまとめておく必要があると痛感しました。

ビール電車は懇親会の会場が電車内に移動したのと言ってしまえばそれまでですが、(他都市も含めて)路面電車内で飲食すること自体が初めてでしたので、個人的にはもう少し車窓と食事を楽しむ余裕があればよかったかなと思いました。

なお、今回は名古屋で前泊、翌朝1日乗車券を使って豊橋の路面電車の全線を乗り通しています。8時過ぎの運動公園行きは、積み残しが出るほどの盛況でした。 (鳥居:記)

第14回 中部地区路面電車サミット2015 in 豊橋報告



去る7月11日、豊橋市の明豊ビルにおいて第14回中部地区路面電車サミット2015in 豊橋が開催され、清水・鳥居2名が参加して参りましたので報告致します。豊橋市電は今年開業90周年。サミットはその節目の大会。最初に、JR・名鉄豊橋駅のデッキを降りたところに位置する駅前電停から貸切のホットラムに乗り、市役所へ。13階の展望ロビーに展示された豊橋市の歴史パネルを前にとよはし市電を愛する会の伊奈彦定会長より説明を受け、そしてランチミーティング。ここでは各団体が活動報告、ROBAとしては以下の報告を行いました。「福井では2度の鉄軌道の存廃問題を経験、存続運動に明け暮れた時期がある。鉄軌道が存続・再生され、乗客数はV字回復している。福井鉄道には低床電車 FUKURAM が2編成導入された。来春には福井鉄道とえちぜん鉄道三国芦原線の低床車両による相互乗入れが始まり、福井鉄道は福井駅前広場に延伸される。FUKURAM 第3編成とえちぜん鉄道の低床電車が2編成導入される。ようやく収穫期を迎えている。これまで、ROBAは存廃問題を2度抱え、重い課題と向き合ってきた面がある。しかし、来春からは市民とともに楽しい活動を展開していけたらと考えているところである。」また、サミット次期開催地が福井に決定して挨拶に立ち、「来春、福井の鉄軌道は大きく変わる。来年、福井でサミットを開催する。皆さんに新しい福井を見に来て頂きたい」と来福を呼びかけました。豊橋については、延伸とホットラム第2編成の導入という課題を掲げ活動しているとのことでした。

昼食後、市電で明豊ビルに移動。服部重敬さんの講演「路面電車と都市の交通～世界の動きと日本～」を聴き、そのなかで「日本における地方創生はコンパクト+ネットワークが鍵」という言葉が印象に残りました。そのあと、サミット宣言を行い、閉会。実は豊橋で重要なのはここから。駅前電停からビール電車に乗り。運動公園で折り返して駅前電停に戻ってくるまで、とよはし市電を愛する会の皆さんとの交流を楽しみました。別れ際、伊奈会長から「来年、無理をせず福井なりの路面電車サミットを開催してください」と言われましたが、豊橋でのおもてなしにどう応えるか、課題を頂いた気がしました。



(文：清水)

岡山路面電車まつりに参加

6月13日に清水さん、塚谷さん、鳥居の3名が、第20回岡山路面電車まつり(公共の交通 RACDA 主催)に参加してきました。私はイベント開始時刻の10時に間に合うように岡山に前泊し、念願だった500系(新大阪発岡山行最終のこだま)にも乗車できました。

岡山駅前会場のステージイベントは音楽ライブが中心で、出演したアーティストは全9組、総勢90名でした。その中には、昨年の中部地区路面電車サミット(高岡)でオープニングステージを務めた縁でこのたび RACDA の全国広報担当に就任された高橋涼子さんの姿もありました。

ライブ以外にもミニ電車の試乗、鉄道模型、パネル展示、飲食物やグッズ販売のコーナーが充実していて、会場周辺で終日楽しめました。天気にも恵まれ、多くの来場者で賑わっていました。

東山会場でも物販コーナーや車両の展示があり、電車バスだけでなく介護タクシーや日本赤十字社のPR車両も展示されていて、両会場とも、交通事業者以外の団体も多く参加してイベントを盛り上げようという姿勢が実感できました。今後 ROBA が主催するイベントも、理想を言えばこうありたいものです。

岡山の路面電車は営業距離が短いものの、沿線に公共施設、観光施設、学校、病院が集中し、低運賃かつ高頻度のサービスを提供しているため利用者が定着するのだと思います。1日乗車券の裏面の沿線地図を見て改めて納得しました。今後利便性をさらに高めるために軌道を延伸して電停を駅前広場に近づける計画もあり、東山会場ではその延伸計画に関するアンケートを実施していたので記入しました。「どちらから来られましたか」の設問に「県外:福井市」と記入したので、無記名でもおそらく素性は(ROBA 会員であると)割れているでしょう。

(鳥居:記)



オープニングのテープカット



岡山駅前でのライブ風景



各地の活動事例(福井の状況も紹介されました)



東山会場に展示された「たま電車」

新幹線関連・その3 JRから分離された並行在来線

善光 孝

平成27年3月14日、北陸新幹線が金沢まで開業しました。しかし、それに伴い北陸本線などがJRから分離され、各県ごとの第三セクター鉄道会社になりました。福井県内も、早かれ遅かれ、いずれ新幹線はやって来ますし、並行在来線問題も乗り越えなければいけません。そこで、グルメ会員、善光が、富山県で起こっている三セク化された事による問題点をお伝えします。

富山県で立ち上げられた三セク会社は「あいの風とやま鉄道」。石川県最北の倶利伽羅駅から新潟県最西の市振駅間の約100kmです。三セク化後は、特急列車が無くなったため、旅客実態に合わせた融通の利く便利な鉄道になる・・・とも言われていましたが、さてどうだったのでしょうか？ 新聞紙面をにぎわせた記事は“大混雑、積み残し”と言う何ともなさけないものでした。

以下、発生した問題点や不都合を書いてみましょう。

- ① JRダイヤから特急列車を取っただけの進歩のないダイヤ
- ② 縛りが少なくなったのに無駄の多い不規則ダイヤ
- ③ 車両数の縮減による混雑の増大と積み残しの発生
- ④ 県別分離による融通の利かない運行調整
- ⑤ 特急廃止による高岡・魚津・黒部・泊など主要駅間の速達移動ができなくなった
- ⑥ 運賃の値上げと、初乗り運賃の二重取り
- ⑦ 各駅の無人時間の増加
- ⑧ 他鉄道会社間の乗車券の購入可能区間が限定的に
- ⑨ JR線との連絡回数券の不発売

・・・とまあ、主要なものを書きましたが、細かい事を言えば、切りがありません。福井でもこれら富山の“しくじり”を勉強し、少しでも便利な「あなたの蕎麦えちふく鉄道」にしたいものです。

次回（その4）は、あいの風とやま鉄道の利便性を低下させている

（利便性を向上できない）大きな原因について問題を投げかけてみたいと思います。



①



②

- ①いしかわ鉄道と、とやま鉄道の境界、倶利伽羅駅の駅名標。
- ②倶利伽羅駅を発車する富山行き、いしかわ鉄道の列車。



作/漆崙 耕次

珠洲市青年団協議会

珠洲市は10地区から成っています。10地区全てにそれぞれの青年団があり、地域のために活動を行っています。その10地区の青年団から選抜メンバーを出して「珠洲市青年団協議会」が組織されています。私は、平成27年度の珠洲市青年団協議会 副会長を任命され、青年団活動をしています。

珠洲市青年団協議会 HP (<http://www.ishikawa-seinen.com/~suzu/>)

珠洲市青年団協議会では、様々な事業を行っています。たとえば、「珠洲市一周青年駅伝大会」は今年で69回目を迎えました。戦後すぐに始まった歴史のある取り組みです。

私は、Love&ピース事業の担当をしています。今年は戦後70年の節目の年です。珠洲市だけではなく能登全体に視野を広げ、戦争経験者の記録映像を制作しています。できあがった映像集は能登半島の全小学校に寄贈して教材として使っていただくことを目指しています。



編集後記・・・編集委員より一言

内田（発行責任者）

「本年は7月例会終了後8月例会まではあまり行事がありませんね。去年はCFD関連でJCとしきりに打合せをしていました……。」

林（変集長）

「メンツを保つだけのための税金の無駄遣い。民意を無視した強行採決。日本はどうなってしまうのだろうか」

事務局 特定非営利活動法人

ふくい路面電車とまちづくりの会(ROBA)

910-8031

福井市種池1丁目1905-3

TEL: 0776-25-7968

e-mail: roba@mbh.nifty.com

URL: <http://roba.cocolog-nifty.com/roba/home/>